目　次

第４版はしがき
はしがき

第Ⅰ部　ようこそジェンダー法学へ

1　ジェンダー法学の基礎知識 ―――― 2

1　ジェンダーは身近な問題　2
2　ジェンダー／セックス／セクシュアリティ　4
3　多様なフェミニズムと複数の波　6
4　ジェンダー法学とその課題　8
5　司法分野のジェンダー・バイアスと人権教育の課題　10
6　アンコンシャス・バイアス　12
7　国際社会のなかの日本――グローバル・ジェンダー・ギャップ指数　14
8　逸失利益の男女格差　16

一歩すすんで（コラム）

第Ⅱ部　ジェンダー主流化にむけて

2　国際社会の動向とジェンダー主流化の展開 ―― 22

1　ジェンダー主流化　22
2　女性差別撤廃条約と北京行動綱領　24
3　CEDAWによるレポート審査と個人通報制度　26
4　平和とジェンダー　28
5　持続可能社会とパンデミック　30
6　日本型福祉社会と少子高齢社会　32
7　ポジティブ・アクションとクオータ制　34
8　包括的反差別法と交差差別　36

9　欧州司法裁判所・欧州人権裁判所の判例から　38

3　人権とジェンダー ——— 40

1　人権とジェンダーの歴史　40
2　自由と平等をめぐる闘い　42
3　社会権——横暴な自由から人びとを守る権利　44
4　近代日本の「家」と「家族」　46
5　日本における女性運動と女性参政権　48
6　教育とジェンダー　50
7　憲法24条と戦後日本　52
8　男女共同参画社会基本法と条例　54
9　天皇制と男系男子主義　56

4　性の多様性 ——— 58

1　LGBTQ+／SOGI　58
2　性のスペクトラム　60
3　トランスジェンダー　62
4　SOGI差別の禁止　64
5　マスキュリニティ／男性性　66

第Ⅲ部　身体と性

5　女性に対するジェンダーに基づく暴力 ——— 70

1　女性に対するジェンダーに基づく暴力　70
2　性の二重基準　72
3　ポルノグラフィーとデジタル性暴力　74
4　戦争・軍隊と性暴力　76
5　男性性と暴力　78
6　女性と犯罪——被虐待女性症候群と女性受刑者への配慮課題　80
7　国際人道法と国際刑事裁判所　82
8　女性に対する暴力が裁かれるとき　84

6 セクシュアル・ハラスメント ―― 86
1 セクシュアル・ハラスメントとは何か 86
2 セクシュアル・ハラスメントの当事者 88
3 セクシュアル・ハラスメントの二次被害 90
4 キャンパス・セクハラ 92
5 紛争解決とジェンダー 94
6 男性に対するセクシュアル・ハラスメント 96
7 仕事の世界における暴力とハラスメントの防止 98
8 職場におけるセクシュアル・ハラスメント 100

7 性的自己決定権の侵害 ―― 102
1 強姦法と性差別主義 102
2 強姦と「無理やりの性交」 104
3 日本刑法の改正 106
4 強姦神話 108
5 性暴力被害者のPTSD 110
6 男性の性被害 112
7 諸外国の強姦罪規定・被害者保護 114
8 強姦罪が認められず無罪となった裁判例 116

8 買売春と人身取引 ―― 118
1 買売春と人身取引 118
2 戦前日本の公娼制 120
3 売春防止法 122
4 人身取引（トラフィッキング） 124
5 子どもの性をめぐる問題 126
6 日本軍「慰安婦」問題 128
7 セックスワーク 130
8 買売春法制をめぐる国際社会の動向 132
9 買売春・人身売買 134

9 性と生殖の権利 136
1 性と生殖の権利――歴史的展開 136
2 優生保護法から母体保護法へ 138
3 女性の自己決定権と胎児の生命 140
4 セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ 142
5 生殖補助医療の利用と課題 144
6 包括的性教育 146
7 バイオテクノロジーの進展 148
8 生命倫理とジェンダー 150
9 人工妊娠中絶 152

第Ⅳ部 親密圏

10 家族法とその課題 156
1 日本の家族の現実と社会システム 156
2 婚姻形態の多様化と法 158
3 憲法24条と家族 160
4 戸籍と差別 162
5 夫婦の氏の問題 164
6 憲法違反が問われた家族法の条文 166
7 同性カップルの問題 168
8 民法750条・900条をめぐる裁判所の判断 170

11 離婚をめぐる諸問題 172
1 離婚の手続 172
2 離婚と財産 174
3 離婚と子ども 176
4 離婚後の親子関係 178
5 家事調停とジェンダー 180
6 離婚後の生活とジェンダー課題 182

7 諸外国における離婚制度 184
8 離婚裁判の現状 186

12 親子関係と生殖補助医療 188
1 子ども政策・親子関係と法 188
2 親子関係をめぐる法の仕組み 190
3 生殖補助医療により出生した子の親子関係 192
4 血縁によらない親子――養子縁組・里親制度 194
5 性の多様性と親子関係 196
6 諸外国における生殖補助医療と法 198
7 生殖補助医療・DNA鑑定と親子関係 200

13 親密圏における暴力 202
1 親密圏における暴力 202
2 ドメスティック・バイオレンス（DV） 204
3 デートDVの問題 206
4 DV防止法の仕組み 208
5 ストーカー規制法 210
6 児童虐待防止法 212
7 DV加害者プログラム 214
8 DV裁判例（離婚、損害賠償、殺人） 216

第Ⅴ部 労 働

14 労働者保護の基本 220
1 労働者保護の基本的な仕組み 220
2 労働時間規制と有給休暇 222
3 労働災害と過労死 224
4 パワハラと過労自殺 226
5 解雇・退職 228
6 労働組合制度 230

15 雇用における差別 ——— 232
1 雇用における差別 232
2 男女雇用機会均等法制定前の雇用差別裁判 234
3 男女雇用機会均等法 236
4 有期労働契約とその悪用 238
5 派遣という働き方 240
6 賃金差別 242
7 間接差別 244
8 雇用性差別裁判 246

16 ワーク・ライフ・バランス ——— 248
1 ワーク・ライフ・バランス 248
2 妊産婦である労働者の保護 250
3 家族的責任と仕事の両立 252
4 パートタイム労働 254
5 柔軟な労働時間制度 256
6 転勤命令が無効となる場合 258

17 労働法の保護から排除される労働者 ——— 260
1 労働法の保護から排除される労働者 260
2 アンペイドワーク 262
3 福祉的就労 264
4 外国人労働力政策 266
5 明日のための生活保護 268
6 遺族補償のジェンダー 270

主要参考文献
資 料
索 引